

一般社団法人 全日本建設技術協会

会長 大石 久 和

印省略

第652回建設技術講習会（災害復旧）の開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした一般社団法人です。

本講習会では、道路、河川、港湾、都市・地域整備等の各部門別の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからの社会インフラの維持管理・更新、現場の生産性を高め、働き方改革を進めるためのi-Constructionの取り組み、AIやロボットなど新技術を活用した公共事業、公共工事の品質確保と入札契約の適正化、災害復旧、工事積算における動向と工事施工における合理化と安全対策など、建設事業の実施にあたって特に重要な課題を取り上げることであります。また、講師には建設行政や建設技術等の各分野において造詣が深い方を迎え、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっております。

このたびの第652回建設技術講習会では、公共土木施設の災害復旧の理念、災害復旧事業の制度、災害復旧のための工法や技術について、災害査定申請のポイント、留意事項について、大規模災害時における査定について、改良復旧事業の計画手法について、危機管理に備えた体制の強化など災害対策に係る施策の最新情報などについて学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石 久和

印省略

第652回建設技術講習会（災害復旧）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。
本協会では、平成31年2月27日(水)～3月1日(金)、松山市において標記講習会を開催いたします。
この講習会では、公共土木施設の災害復旧の理念、災害復旧事業の制度、災害復旧のための工法や技術、災害査定申請のポイント、留意事項、大規模災害時における査定、改良復旧事業の計画手法、危機管理に備えた体制の強化など、災害対策に係る施策の最新情報について学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。
なお、本講習会は愛媛県・松山市の共催(予定)、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,400円	13,400円	13,400円	13,400円
愛媛県内の国・県に勤務	13,400円	2,000円	2,000円*	—
愛媛県内の市町村に勤務	2,000円	0円	—	—
四国地区連合会管内の市町村に勤務	18,400円	2,000円	—	—
30歳未満	18,400円	2,000円	—	—
学生	0円	—	—	—

*特別会員は、開催県内勤務または在住の者

※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。

※聴講のみの参加は可能です。 ※昼食の斡旋はありません。

※割引価格(2,000円)で参加の場合、取り消しはできません。

③現場研修料：7,900円〔うち昼食代1,200円〕 ※現場研修のみの参加はできません。

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。
※会場でのお支払い等のご遠慮願います。

⑤申込書送付先：(一社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F
TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142
口座名義：シャ) ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ
※必ず、お振込人名義(協会名)の前に、開催回数の「652」をつけ加えて下さい。
※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：平成31年2月8日(金) 必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	平成31年2月15日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成31年2月22日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。
※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

本講習会は「全建CPD(継続教育)制度」及び「CPDS(予定)」の認定講習会です。
【聴講/現場】全建：9単位/2.75単位、CPDS：(未定)

講習会情報については全建ホームページもご覧ください。 <http://www.zenken.com/>

第652回建設技術講習会(災害復旧)日程

～災害復旧の制度、災害復旧時の工法や技術、申請のポイント、災害査定時の留意点などの実務を学ぶ～

- ・公共土木施設の災害復旧の理念、災害復旧事業の制度、災害復旧のための工法や技術について
- ・災害査定申請のポイント、留意事項について
- ・大規模災害時における査定について
- ・改良復旧事業の計画手法について
- ・危機管理に備えた体制の強化など、災害対策に係る施策の最新情報について

会場 …… 松山市民会館(中ホール)
〒790-0007 松山市堀之内 TEL089-931-8181(代)

(1日目) 開場11:40		平成31年2月27日(水)		(敬称略)
12:40 }	あいさつ	愛媛県知事	中村 時 広	
13:00		松山市長 (一社)全日本建設技術協会 常務理事	野 志 克 仁 秋 山 幸 男	
13:00 }	平成30年発生災害の概要と災害復旧事業採択について ～災害復旧制度・注意点と最近の話題～	国土交通省水管理・国土保全局防災課 総括災害査定官	加 邊 良 徳	
15:00				
15:10 }	大規模自然災害に備えた災害対応体制の充実強化(国土交通省水管理・国土保全局防災課 災害対策室 防災企画官	波多野 真 樹	
16:10				
16:20 }	【地域事業の紹介①】 肱川緊急治水対策について	愛媛県土木部河川港湾局河川課 課長	野 間 俊 男	
16:50				
16:50 }	【地域事業の紹介②】 「松山市の景観まちづくり」について	松山市都市整備部都市・交通計画課 主幹	兵 藤 一 馬	
17:20				
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ> (18:00～19:30(予定))		リジェール松山(JA愛媛8階) 「クリスタルホール」 TEL089-948-5631		
(2日目) 開場 9:00		2月28日(木)		(敬称略)
9:40 }	港湾関係災害復旧事業制度の概要について	国土交通省港湾局海岸・防災課 総括災害査定官	山 田 昭 光	
10:40				
10:50 }	都市災害復旧事業制度の概要について	国土交通省都市局都市安全課 課長補佐	青 柳 敬 直	
11:50				
13:00 }	【特別講演】 土木偉人宮本武之輔に学ぶ ～土木黎明期における土木技術者の功績～	宮本武之輔を偲び顕彰する会 事務局長	石 丸 敬 三	
14:00				
14:10 }	【地元自治体の取り組み】 愛媛県における平成30年7月豪雨の被害と復旧の取 り組み	愛媛県土木部土木管理局土木管理課 技術企画室 主幹	高 橋 洋 八 郎	
15:10				
15:20 }	公共土木施設に係る災害復旧事業と改良復旧事業に ついて	国土交通省水管理・国土保全局防災課 緊急災害対策企画調整官	松 浦 直	
16:20				
16:20 }	閉会のあいさつ	愛媛県建設技術協会 会長 (愛媛県河川港湾局長)	山 下 勝 徳	
(3日目) 集合 8:00～		3月1日(金) 【現場研修】		

松山市民会館前(8:30)出発

- 内子の歴史町並保存・景観保全(下車説明) → 大洲城復元事業(下車説明) → 昼食(大洲市内)
→ 肱川直轄河川事業(上老松地区)(下車説明) → JR松山駅(15:20)／松山空港(15:50)着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

全建CPD(継続教育)制度・CPDS(予定)認定プログラム 【聴講/現場】全建：9単位/2.75単位、CPDS：(未定)

第652回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 内子の歴史町並保存・景観保全事業

..... 愛媛県喜多郡内子町

- 高度経済成長の中で全国的に開発が進み、歴史的な建物が急速に失われていく時代のなか、文化庁は全国の集落町並の調査を実施し、その時にリストアップされたのが八日市・護国の町並みであった。
- 町は保存条例や補助制度を整備するなど保存対策を図り、住民も保存修理に着手するなど保存事業が進み、昭和57年、四国で初めて、重要伝統的建造物群保存地区に選定。
- 内子町の町並み保存の目的は、そこにあるものを生かすまちづくりで、歴史・風土に培われてきた伝統や文化に価値を見出し、まちに誇りを持って人々が暮らすまちづくり。
- 内子町民の誇りとなっている内子座は大正5年に創建された木造芝居小屋であり、老朽化に伴い解体する声も上がった。
- 昭和57年に町に寄贈され、町指定文化財に指定。その後、修理・復原され、内子座を拠点とする住民による興行グループや劇団が結成され、再び活気を取り戻した。（2015年国指定 重要文化財）
- 他にも歴史的な建造物は「木蠟資料館上芳我邸」（重要文化財）や歴史民俗資料館、町家資料館などの伝統文化施設として生かされており、内子町の景観形成において重要な役割を担っている。



2 大洲城天守閣復元事業

..... 愛媛県大洲市

- 大洲城天守は、江戸時代に造られたと思われる天守雛形、明治時代に撮られた古写真などの史料があり、往時の姿を正確に復元できる日本でも数少ない天守。
- 大洲城天守閣復元事業は、平成6年に木造による復元を目指し、平成8年に建築史家（故）宮上茂隆氏が「木造による完全復元が可能」と発表し、以後本格的に実施され、完成まで10年かかった。
- 大洲城天守は、慶長年間(1596～1614)に建てられたといわれており、天守を現代によみがえらせるため、多くの人々が様々な分野で当時の技術を再現するため挑戦。
- 現存する重要文化財の台所櫓と高欄櫓を結ぶ多聞櫓を復元するというもので、史料の詳細な分析に基づく正確な復元が貫かれ、戦後初めて木造の4層4階天守を完全に復元。しかも19.15mという復元された木造天守としては日本一の高さを誇る。



3 肱川直轄河川事業（上老松地区）

..... 大洲市長浜町

- 肱川では過去に大雨による浸水被害が生じている。
- 肱川下流の長浜地域上老松地区において、浸水被害を軽減するため一級河川肱川の改修事業を実施。
- 改修事業では、国の「土地利用一体型水防災事業」や県道の整備に合わせて、道路・公園・その他の公共施設の整備改善を図り、良好な環境の市街地を計画的に造成し、水防災事業の建物移転を円滑にし、宅地の利用増進を図ることを目的として、市が土地区画整理事業を実施。
- 肱川に架かる大和橋についても、県が本川の堤防工事と併せて橋の架け替え事業を実施。



第652回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には松山市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3～1日前(前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成31年2月26日(火)、27日(水)、28日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
東京第一ホテル松山 松山市南堀端町6-16 Tel.089-947-4411	シングル	40名	7,800円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



第652回建設技術講習会に参加の皆様へ！ 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、技術者の連携・交流を図るため「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の情報交換・意見交換や交流の場として活用し、また講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時 : 平成31年2月27日(水) 18:00~19:30
(第652回建設技術講習会 1日目講義終了後)

場所 : リジェール松山(JA愛媛8階)「クリスタルホール」

会費 : 2,000円(講習会受付時に徴収)

- ※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。
- ※この交流会は会費制です。
- ※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。
- ※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。
- ※開催場所・時間等が変更になる場合があります。その際は講習会場にてご案内いたします。
- ※服装については特に問いません。



【交流会・意見交換会に参加予定の講師】

- | | |
|--------------------------------|----------|
| ・国土交通省水管理・国土保全局防災課 総括災害査定官 | 加邊 良徳 講師 |
| ・国土交通省港湾局海岸・防災課 総括災害査定官 | 山田 昭光 講師 |
| ・国土交通省都市局都市安全課 課長補佐 | 青柳 敬直 講師 |
| ・国土交通省水管理・国土保全局防災課 緊急災害対策企画調整官 | 松浦 直 講師 |

※講師の都合により変更になる場合があります。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)

※都合により内容が変更になる場合があります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____
(特別・賛助会員名、会社名)

第652回建設技術講習会（災害復旧）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			現場研修	交流会	宿泊申込			
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	年齢		一般(非会員)	会員	正会員 30歳未満			予約日に○を記入して下さい			
								2月 26日	27日	28日	
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
聴講料 ※一般/会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,400円＝ 円 会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,400円＝ 円 正会員(30歳未満、地元及び地区連管内の市町村) 名×2,000円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元及び地区連管内の市町村)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」 及び開催地区連合会管内の市町村(政令市除く)に勤務する「正会員」(賛助会員除く) 現場研修料 名×7,900円＝ 円							↑ 現場研修 の昼食は 不要の申し 出はできま せん※		宿泊代金は、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。 禁煙・喫煙の希望がある場合には、「○禁」、「○喫」のように記入してください。		
計 円											

↓全建に振込

【お申込み時の注意について】

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、割引価格(2,000円)で参加の場合、キャンセルはできません。

本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。

取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできませんのでご了承下さい。